

やちまた

平成26年(2014年)

第198号(11月15日発行)

市議会だより

議員定数を削減!! 22人を20人に



9月定例会



ピーちゃん ナツちゃん

主な内容

- 市議会の新体制 _____ 2P
- 提出議案の主な内容 _____ 3P
- 委員会審査の主な内容・意見書 _____ 4~5P
- 一般質問(代表5人・個人8人) _____ 6~14P
- 議会日誌 _____ 15P
- 審議された議案と結果 _____ 16P

議会の新体制が決定!

9月定例会において、林修三議長、川上雄次副議長の辞職による正副議長の選挙が行われました。

議長に **湯浅 祐徳** 議員、副議長に **山口 孝弘** 議員



湯浅祐徳議長

誠和会所属
平成18年初当選
現在3期目



山口孝弘副議長

誠和会所属
平成18年初当選
現在3期目

就任挨拶

このたび、この9月定例会において、議長ならびに副議長に就任することとなりました。身に余る光栄とともに、責任の重さを痛感しているところでございます。

議長、副議長として公正かつ円滑な議会運営に取り組み、執行機関と真摯な議論により、八街市の抱える諸課題に有効な政策を推進していけるよう、八街市議会が持てる力を十分発揮し全力を尽くしてまいりたいと考えております。

皆様におかれましては一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

議会運営委員会

委員長	鯨井 眞佐子
副委員長	小高 良則
委員	右山 正美
	新宅 雅子
	林 政男
	古場 正春
	中田 眞司
	林 修三
	石井 孝昭

総務常任委員会

委員長	新宅 雅子
副委員長	小山 栄治
委員	丸山 わき子
	川上 雄次
	湯浅 祐徳
	小高 良則
	桜田 秀雄

文教福祉常任委員会

委員長	石井 孝昭
副委員長	木村 利晴
委員	京増 藤江
	林 政男
	中田 眞司
	小菅 耕二
	服部 雅恵
	鈴木 広美

経済建設常任委員会

委員長	林 修三
副委員長	長谷川 健介
委員	右山 正美
	加藤 弘
	鯨井 眞佐子
	古場 正春
	山口 孝弘

議員定数を22人から20人に! (発議案第6号)

議会改革検討協議会において、議員定数削減の長所・短所、人口同規模の市議会や全国の市議会の定数状況などを参考に、昨年9月から3回にわたり協議が行われました。2人減員と現状維持の意見があったことから採決の結果、賛成7人、反対1人で次の一般選挙より定数を2人減員し定数20人とする事と決定し、議会運営委員会に答申がありました。

議会運営委員会での各委員の意見では、「人口が減少しているため2人削減に賛成」、「二元代表制なので減らしすぎも良くないので2人減」など2人減に賛成する意見と、「定数が減少になると市民の声が反映できなくなるため現状維持」、「削減する場合はその影響について検証が必要」など削減に反対する意見がありました。その後、議員全員協議会で2人削減について採決を行ったところ、賛成16人、反対5人となりました。

前回削減時の平成19年と比べて7年間で本市の人口が約3千500人減少しており、今後も人口減少が見込まれています。また、議員定数の減少の長所と短所を総合的に勘案した結果、最小偶数の2人減で提案したものです。

本会議での採決では、賛成16人、反対4人の賛成多数により、次の一般選挙から議員定数は20人となります。

提出議案の主な内容

平成26年9月定例会は、9月2日に開会され、諮問1件、議案14件、発議案4件が提出され審議されました。
《紙面の都合上、議案の内容の一部を掲載します》

条例

◆朝陽幼稚園預かり保育

平成27年度から朝陽幼稚園で預かり保育を実施するため、幼稚園保育料等の徴収条例を一部改正します。

・常時預かり保育料

月額40000円

・一時預かり保育料

1日3000円

◆子ども・子育て会議

放課後児童クラブ及び家庭的保育事業等を行うものに対して、整備及び運営を向上させるように「子ども・子育て会議」で審議できるようにしました。

◆放課後児童クラブ

児童福祉法の一部改正に

に伴い、厚生労働省令に従い放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）に関する基準を設けました。

◆家庭的保育事業

児童福祉法の一部改正に伴い家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業、地域型保育給付の対象事業となる事業所内保育事業が市の認可事業となったため基準を設けました。

◆身近な保育の場を確保

子ども・子育て支援法の規定に基づき、内閣府令で定める基準に従い、特定教育・保育施設（保育園・幼稚園・認定こども園）及び特定地域型保育事業の基準を設けました。

予算

◆一般会計補正予算

○安全で快適に利用できる道路環境を整えるため、市道の改良や維持修繕を行います。（1千124万円・既定予算と合わせて3億2千862万円）
○水路等流末排水施設を整備します。（1千万円・既定予算と合わせて6千294万円）
○八街市消防団第16分団が

県消防操法大会の小型ポンプ部門で優勝し、全国大会へ出場します。（148万1千円）

全国消防操法大会

全国消防団員の消防技術向上と士気の高揚を図り、消防活動の充実に寄与することを目的に、全国から代表が集まり日頃の訓練を発揮し、日本一を競いあいます。

・日時 平成26年11月8日（土）
・会場 東京臨海広域防災公園（有明）

○災害時の情報伝達及び避難者との通信手段確保のため防災行政無線の子局1カ所のデジタル化を行います。（616万8千円）
○子どもを安心して育てることができ体制づくりを推進し、保育所における待機児童の解消を図るため民間保育所の整備に対して補助を行います。（7千560万6千円）
○生活保護にいたる前の段階の自立支援強化を図るため、相談支援事業等を行います。（300万円）
○肺炎球菌ワクチン・水ぼうそうワクチンの予防接種を行います。（3千703万6千円）

○住宅用太陽光発電設備の設置に対する補助について申請件数の増加が見込まれることから、事業費を増額します。（140万円・既定予算と合わせて672万円）
○市民が憩いの場として、安心して公園を利用できるように、老朽化した公園遊具の更新等を行います。（86万2千円）
○生徒に対する防災教育や被災地での災害ボランティア活動など、実践的な防災教育の充実に図ります。（64万1千円）
○農地集積・集約化を促進するため農地台帳の電算化を行います。（565万8千円）
○農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農業者等による組織が取り組む水路・農道の管理等の活動に対して支援を行います。（60万1千円）
○郵便局のふるさと小包を活用し、市の特産物である落花生のPR・販売の促進を図ります。（50万円）
○ふるさと納税で歳入のあった寄付金について、

基金への積み立てを行い、また、寄附件数の増加が見込まれることから、寄附の際に

お渡しするPR商品の予算額を増額します。（204万5千円）

決算審査特別委員会を設置

平成25年度一般会計・特別会計（国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・下水道事業）及び水道事業会計の決算を審査するため決算審査特別委員会を9月定例会において設置し、10月1日から3日までの3日間審議しました。



- ・委員長 石井孝昭
- ・副委員長 鈴木広美
- ・委員 京増藤江 新宅雅子
- 林政男 林修三
- 桜田秀雄 小山栄治
- 服部雅恵

委員会での審査

9月16日から18日に各常任委員会が開催され、付託された議案等を審査しました。
(紙面の都合上、質疑等の一部を掲載します。)

総務

◆一般会計補正予算

問 今年度の地方交付税は、前年度と比較して1億3千万円の減となり、臨時対策債と合わせても減になります。市はどのように考えているのか。

答 地方交付税は、平成25年度の給与減額分があったことから、その回復分が今年度交付されるという見込みで当初予算を組みましたが、実際、交付税の算定で単位費用のほとんどが減額になっていました。かなりの減額になるので、今後の予算全般にかんがって、影響があるものと考えています。

問 安心子ども基金事業補助金は、民間保育を充実させていくというところで、内容を伺う。

答 私立八街かいたく保育園の現在の定員66名に45名増員し、定員111名とするための増築工事になります。

問 住宅用太陽光発電設備導入推進事業では、設置数の推移を伺う。

答 平成23年度は10基、24年度は76基、25年度は86基です。26年度は、8月末現在で30基申請があり交付済みです。

問 やちまた応援寄附金の状況を伺う。

答 本年4月から7月までの112件のうち、納入のあった97件147万円を補正するものです。昨年度の総件数が99件でしたので、件数は昨年度並みになっていますが、金額は昨年度2名の方から100万円ずつの寄附がありましたので、金額的には少ない状況です。

問 応援寄附金によるまちづくり基金積立金は、何に使つか。

答 寄附者は「8つの街づくりメニュー」の中

から希望するメニューを選んで頂くなどして、予算編成時はメニューに沿ったものに充てています。その他、使途の指定がないものは、市長が決定しています。

問 災害復興住宅利子補給事業費は、平成25年度の台風の被害に対する事業とのことです。実際の被害は何件あったのか。

答 床上浸水が6件、把握しています。融資を受けて、この事業を利用する方はいませんでした。

問 全国消防操法大会で、ポンプなどを会場に運び込む経費はどのようになっているのか。

答 会場は東京の有明で、消防車を直接乗り付けることは出来ないことになっていて、小型ポンプ、ホースなどの器材を会場に搬入するため、器材運搬用としてトラックを借り上げます。その他は16分団員等が移動するためのマイクロバス1台、消防委員、地元西林区の方、その他沢山の方が応援に行かれると伺っていますので、応援用の大型バスを3台用意します。

文教福祉

◆市立幼稚園保育料等徴収条例の一部改正

問 朝陽幼稚園での預かり時間は、午後4時までとのことですが、二又調査では午後5時までの希望が大変多いです。今後の方向性はどのように考えているのか。

答 現有の職員での対応とを考えていますので、事後処理を含めて預かり時間は、午後4時までとしました。今後は、八街第一幼稚園、川上幼稚園でも平成28年度以降は考えていますので、これを踏まえて検討したいと考えています。

問 子ども・子育て会議設置条例の一部改正

答 児童福祉に関する審議会が調査審議する事項も審議できることになっているのか。

答 児童福祉審議会が設置されていない状況から、子ども・子育て会議をそれに変わる合議制の組織として、変更するための一部改正です。

◆放課後児童健全育成事業の基準を定める条例

問 設備の基準について、児童1人につきおむね1.65平方メートル以上としているが、今後6年生までの入所を考えると狭いと思うが、どのように考えているのか。

答 最低基準として設けているもので、ガイドラインの内容をそのまま踏襲したのですが、八街市の児童クラブにおいて、基準以上になっていない。新設、改修があった場合、この最低基準より高く設けることができるようであれば、そのようにしたいと考えています。

問 家庭的保育事業等の基準を定める条例

問 保育士で全員保育をする事が必要です。子どもの安全に係わる資格の問題についてどのように考えているのか。

答 本市はまだ、事業を行っていないので、同じような形態の保育ママ等いない現状ですが、他市の状況では研修を行って、保育従事者の資格を認定していると聞いています。本市も、保育従事者向

◆一般会計補正予算

問 特別支援教育支援員は、八街東小学校に配置することですが、なぜこの時期に増員することになったのか。

答 情緒不安定な児童が在籍していたり、日本語が不十分な外国籍の児童が在籍しており、不適応を起こしている児童への対応等支援をする人数が不足しています。

問 小学校5、6年生に

問 おいて週1時間の外国語活動とのことですが、袖ヶ浦市は小学校1年生からカリキュラムに英語教育があります。進んでいる自治体との整合性をどのように図っていくのか伺う。

答 1年生から4年生にも総合的な学習時間に、英語活動を実践しているところですが、英語の表現の基本に慣れ親しむ中で、英語に興味を持たせるといふ狙いをもって、指導を進めているところです。

経済建設

◆一般会計補正予算

問 水質検査をして、どのような成分が検出されているのか。また、水質の追跡調査はしているのか。

答 八街市は農業が盛んであるので、亜硝酸性窒素が一番多い結果となっています。調査は、隔年で各60か所ずつ実施しています。亜硝酸については波があり、一度検出されても減ってしまふ場合があります。また、ある程度の数値を超えると、ずっと検出されている状況もあります。

問 住宅用太陽光発電設備導入推進事業の現在の執行率を伺う。

答 8月末現在で30基の太陽光発電補助の実績となります。当初予算は76基分を計上しています。昨年度は11月中旬に交付が終了してしまつたことがあります。8月末現在で30基であり、あまり伸びていませんが、今後ホームページや広報などで、再度PRして周知していきたいと考えています。

問 農地中間管理事業の出し手、受け手の具体的な内容を伺う。

答 出し手は、市に申請することになり、これを市から管理機構に提出します。受け手は、管理機構が公募をして探します。受付は、市でも行いますが、公募をかけた方々と出し手を管理機構が調整して貸付をしていきます。金額は、農地を10年以上機構に貸付ることが要件ですが、交付単価が集積面積で分かれており、0.5ヘクタール以下で30万円、0.5ヘクタールを超えて2.0ヘクタール以下は50万円、2.0ヘクタールを超えるものは70万円になります。

問 最近の代位弁済の状況を伺う。

答 平成12年に1件あつてからありませんでしたが、今回新たに1件発生したものです。

問 道路整備では、まだ傷んでいる路線があります。予算の関係もあると思いますが、今後の見通しを伺う。

答 要望に対して100%整備していない状況ですが、これからの展望として、まず1、2級道路を主体に補助事業を活用しながら、順次整備していきたいと考えています。要望箇所は、緊急性の高い箇所から維持補修工事を実施できるよう、予算確保に努めたいと考えています。

問 八街駅北側地区土地区画整理事業では、まちづくりに対して市が最後まで責任を持つことが重要と考えます。今後の対策はどのように考えているのか伺う。

答 今後は、商業区域内にまだ活用されていないところについて、できる範囲で積極的に支援し、公共施設用地も含めて市の顔となつて、賑わいの創出が図られるよう努力したいと考えています。

◆水道事業会計補正予算

問 管路近代化事業の内容を伺う。

答 八街駅の南側と九十九路団地の通りの2箇所あわせて約1.2キロメートルの管路更新工事と、昨年度更新工事を行った箇所の舗装復旧工事になります。

意見書を国などに提出しました!

新聞等への消費税軽減税率適用を求める意見書 (賛成多数により可決)

新聞は、国内外の多様な情報をその戸別配達網により全国へ、日々ほぼ同じ時刻に届けることで、国民の知る権利と議会制民主主義を下支えするとともに、文字文化興隆の中軸の役割を果たし続けています。

近年、活字離れが進む中で、書籍とともに新聞も購読率が低下傾向にあり、新聞を全く知らないで育つ子供がふえるなど、次の世代の知的水準へ深刻な影響を及ぼすものと深く憂慮され、新聞離れが加速されるおそれがあります。

よって、本市議会は国に対し、食料品など生活必需品とともに新聞等へ消費税軽減税率を適用するよう強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

平成26年9月25日

八街市議会議長

衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣 財務大臣 文部科学大臣 あて

消費税10%へのさらなる増税の中止を求める意見書 (賛成少数により否決)

国は、消費税増税法附則第18条第3項に基づいて、消費税のさらなる増税10%への引き上げを中止し、食料品など生活必需品を非課税にするよう求めるものです。 (一部抜粋)

市政を問う！

一般質問は、市の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、見解を求めるものです。9月定例会の一般質問は、9月5日(金)、8日(月)、9日(火)の3日間に13名の議員が質問しました。(ここでは紙面の関係で、その一部を要約して掲載しています。)

代表質問

八街市の課題

やちまた21 林 政男



人口減少問題

問 島根県海士町では「地域の未来は自ら切り開く」を合い言葉として、職員と住民の高い志と熱い郷土愛と気概が自治の原点であるとし、島外の若者を積極的に招き入れ、彼らの意見や行動を肯定化し、まちの活性化につなげています。徳島県神山町は林業し

かなかつたままでしたが、近年IT企業をまちに誘致し、活性化を図っています。また徳島県上勝町では、平均年齢70歳のお年寄りがパソコン、携帯電話を駆使し、中にはタブレット端末を持ち、仕事に精を出されています。本市では、直近の5年間で3千人の人口減が進んでおり、八街市人口減少問題対策会議を立ち上げたのですが、会議の進展状況と来年度予算にどのように反映するのか伺う。

市長 第1回検討会 会議は6月2日に開催し、若手職員によるプロジェクトチームを設置して、アイデア出し等、調査・検討を行わせることとしました。また、婚活、結婚、妊娠、子育て世代の職員15

人を構成とした八街市人口減少問題対策プロジェクトチームを6月13日付で設置し、これまでに3回ほど開催して短期間で実現が可能なものは、近々中間報告があることになっています。八街市人口減少問題対策検討会議では、本市に有効な施策について取捨選択し、有効と判断される施策について報告されます。これらの報告内容を考慮し、全体の予算バランスの中で、人口減少問題対策として重点配分する事業を見極めたいと考えています。

道路行政

問 平成25年度の市民意向調査によれば、八街市のイメージは「交通の便のよいまち」の問いに対して、実に7割近くの68.7%の方が「思わない」、「さほど思わない」の22.4%を加えると、91.1%の方が交通の便がよいまちとは思っていないということになります。市長は常々、道路行政の重要性を説いておられますが、今後どのような施策、ビジョンがあるのか伺う。

市長 通学路の歩道の整備、さらには国、県と協働により地元説明を実施している交差点改良など、緊急性の高い箇所について限られた財源ですが、新たな補助金の活用も視野に入れて、引き続き積極的に取り組んでいきたいと考えています。また、策定中の次期総合計画の中でも、計画的かつ効果的な整備ができるように協議検討していきますが、特に広域的な幹線道路の整備計画等は、本市だけでは問題解決が難しいことから、今後、県や近

副市長 国の方でも地方創生というところで各省庁が、いろいろと人口減少や地域の活性化に向けた予算の概算要求等を行っており、地方創生基本法案の策定に向けた動きも出ているようです。市の財政が非常に厳しい中、国や県の動向等にも注視しながら進めたいと考えています。

隣市町などの協力をいただき、調整会議等を開催し、調査・研究したいと考えます。

問 住野の十字路の交差点改良は、どのような状況か伺う。

建設部長 以前から改良を要望しており、先日も印旛土木事務所の関係課長と意見交換したり、現地調査を行いました。土地を多く持っている方のお宅へ訪問して、再度説明にあらうということですが、現在調整を図っています。

市有バスの積極的な活用

問 市有バスは交通手段を持たない青少年団体や障害者団体、そのほか多くの団体組織から、現行バス運用管理規則の見直しを求める声が沢山あります。現行の規則を変更することはできないか伺う。

市長 使用回数の増加が見込まれることから規則の改正や職員の増員が必要となり、受益者負担についても市民からの理解が得られることが重要です。使用範囲の拡大について、前向きに検討します。

市有バスの活用については、国、県と協働により地元説明を実施している交差点改良など、緊急性の高い箇所について限られた財源ですが、新たな補助金の活用も視野に入れて、引き続き積極的に取り組んでいきたいと考えています。また、策定中の次期総合計画の中でも、計画的かつ効果的な整備ができるように協議検討していきますが、特に広域的な幹線道路の整備計画等は、本市だけでは問題解決が難しいことから、今後、県や近

代表質問

1期4年間の市政運営を問う

日本共産党 京増 藤江



政治姿勢

問

北村市長の1期4年間の市政での取り組みでは、子どもの医療費無料化を近隣に先駆けて中学校3年生まで拡大、朝陽小学校の改築事業など、高く評価できる一方、前市長の流れをくんだ街づくりを継承し、最近の大雨に対応できない大池第三雨水幹線事業についても、日本共産党は駅北側事業の二の舞になり、今後、同事業を凍結して調整池等の設置によって対応し、市民が切実に求めている道路整備や、市民の暮らしを守る施策を優先させるよう求めてまいりました。しかし、容量不足のこの事業を最優先に進め、厳しい財政運営に突き進んでいきます。この間、進められてきたクリーンセンター建設や駅前区画整理事業のツケが福祉、教育を後退させ、市民サービスの低下と財政難が市政運営にのしかかっています。

市長

市政運営上、税收確保は重要で

「住んで良かった」と思っています。市民の皆様に「住んで良かった」と思ってもらえるような街づくりをするために努力してきました。榎戸駅東口の開設、小中学校の校舎耐震補強、買物弱者支援等のためのお買い物代行事業等の成果に対してみなさまにも一定の評価を頂けるものと思います。

財源確保

問

市長は、健全財政の堅持、安定的な歳入を確保するとして、市民の収入が減って生活が厳しい中で、公約通り徴収強化を進めてきたが、25年度の徴収状況はどうだったのか、また、それが財源確保につながったか伺う。

市長

市政運営上、税收確保は重要で

あり、徴収対策の強化を図りました。口座振替納付の推進、日曜開庁、夜間窓口の設置等納付機会の拡充などもしています。一方、財産があっても納税されない方には、財産調査等を実施し、預貯金や不動産などの差し押さえなど、滞納処分の強化を図っています。収納率については、就任当時の22年度の市税収の現年課税分は94.1%でしたが、25年度は95.4%に、国保税は各77.7%が84.0%に向上しました。今後も税收の確保に努めます。

問

「住んで良かった」と言える街づくりをするためには、財源確保は重要問題である。徴収強化により収納率は向上したが、北村市政になった23年度から差し押さえ等が大変厳しくなった。しかし、23年度の公売件数は28件で、インターネット公売による売却金額は税込みで約539万5千円であったが、25年度は約1.3倍の公売物件に対し売却金額は23年度の約半額に落ち込んでいる。このように物品を公売のほかに給与・預貯金の差し押さえ、学資保険

市長

納付する財産があっても納税されない方には滞納処分の強化を実施し、国保税の滞納者には即時に資格証明書を交付するのではなく、納税相談を十分実施し、短期保険証の交付をしています。今後も全庁体制により、税收の確保に努めます。

問

差し押さえのため、差しの搜索をしても、差し押さえのべき財産がない方々が3割ある。また、着物1着が100円で公売されているなど、滞納している世帯の生活がどれだけ大変か伺える。このような中、平成24年度に学資保険を24件、25年度には10件を解約し徴収している。子どもたちに何とか教育を受けさせたいと願っている家庭に学資保険を解約させることは、市民から希望を奪うのではないかと。

総務部長

学資保険また育英保険等についても、納税者との話し合いの中でご了解をいただいています。

問

6人に1人の子どもが貧困の家庭で育っている。貧困から抜け出すためにも学資保険の差し押さえは問題である。このような市民に冷たい徴収をしながら、北村市政になって農業・商業予算は減っている。地域経済活性化への取り組みが弱かったのではないかと。

経済環境部長

商工面では、ジョブナビやちまたの就業支援、八街駅南口振興組合の運営等への支援をしています。農業については農業後継者育成支援などにも取り組んでいます。

私道整備に助成を

問

生活道路となっていく私道の舗装整備に対して助成を求めるが如何か。

市長

市道認定されている道路についても、未整備な箇所が多く、早急な対応は難しい。しかし、今後も補助金の活用も視野に入れながら緊急性の高い所から改善できるように、予算の確保に努めたい。



誠和会 小高 良則

八街市の将来像

代表質問

八街市の将来像

問 八街市の将来像をどのように捉えているのか伺う。

市長 基本構想における平成37年の将来都市像は、「ひと・まち・みどり」が輝くヒューマンフィールドや「また」と定め、本市に暮らす人々が生き生きと活躍し、自然と農業や商工業など多様な産業とが均衡ある調和を保ちつつ、まちが未来に向かって力強く発展する姿をあらわしています。また、主としての人々が安全で安心して暮らせる、自然と共生する、人間的な優しさにあふれた都市、八街をあらわしています。

問 減少傾向にあると聞かれています。近年の児童数の推移を伺う。

教育長 二州小学校沖分校児童数は平成22年度は47人、23年度は46人、24年度は47人、25年度は36人と、ここ数年徐々に減少し、今年度は33名です。

問 特別支援教育で、小中学校の生徒数、及び特別支援学級の児童・生徒数を伺う。

教育長

八街市では、平成22年度の小学校における特別支援学級の在籍児童数が98人で、平成26年度は169人となり大幅に増加しています。また、中学校では平成22年度の特別支援学級在籍人数は50人で、平成26年度は56人と、増加しています。

問 支援教育に力を入れるべき専門の窓口をどう設置すべきか、どのように考えているのか。

教育次長 支援教育の相談窓口については、就学前の発達相談窓口がありますが、就学で保護者が直接相談できる発達専門の相談窓口はないのが実情です。特別支援教育専門家チームを設置し、就学後、支援を要する児童・生徒について、保護者及び学校の相談を受けています。特別支援教育専門チームは富里特別支援学校地域支援担当教諭2名、市カウンセラー、学識経験者、そして本年度より肢体不自由、精神疾患を含む病気に

対応するため、千葉県立桜が丘特別支援学校地域支援担当教諭2名、千葉県立四街道特別支援学校教諭1名を加え、計7名で構成されています。活動は、年2回の巡回相談と派遣相談を行っています。学校や学校教育課が保護者から発達等の相談を受けた場合、学校の支援で対応できるケースは学校で対応します。保護者が直接相談できる市の専門的な窓口の必要性については認識していますが、教育委員会としては市長部局と連携し、検討したいと考えています。

シニア世代との協働のまちづくり

問 シニア世代との協働の街づくりについて伺う。

市長 市では公募市民、各種団体等からの推薦者、市職員をもつて構成する八街市協働の街づくり検討会を設置し、本市に見合った協働の仕組みとしての指針づくりを進めているところですが、シニア世代が生きがいを持ち、活躍できる地域活動を含めた協働の街づくりの推進に向けて、市民活動をサポートする体制づくりを進めたいと考えており、その第一歩として、現在市民の皆様と

ともに検討している協働の街づくり指針があります。今年度中に原案作成を行い、次年度に入った後、本市の正式な指針となる予定です。

里山整備

問 里山は八街市の環境には大変適していると思えます。ほどよい水資源、豊かな大地、農業体験をしたり、キャンプをしたり、イベント広場を併設すれば、多くの利用者を迎え、楽しんでいただきながら、八街市を体感していただけるのではないかと思います。多目的里山の創造整備を求めるが如何か伺う。

市長 里山は、小谷流の2カ所まで整備が進められています。新たに農業の振興と観光を合わせた、里山としての機能を持った事業計画が民間企業により計画されています。この計画は、長年耕作されていない水田を活用し、自然と触れ合うことができるジオトープや、地元農産物を販売する直売所施設、及び隣接する農地を活用し、農業体験ができる交流広場、また、宿泊も

可能なバンガローやキャンプ場なども整備する計画となっています。首都圏近郊の家族連れや、リタイアして余暇を楽しむ人など、多くの方に利用していただける施設になるものと期待しています。

地域防災計画

問 災害が発生した場合、近隣自治体も同様の被害が当然想定されま

努力すべきですが、ある程度、遠距離の自治体との協定を結んでいくことも十分に必要だと考えます。現在、市内での協定の状況は。

市長 本市は現在、企業・団体等と16件の協定または覚書を締結しています。今後も、災害発生時の応急対応に万全を期すため、より多くの企業、団体と協定等を締結していきたいと考えています。なお、災害発生時に使用する特設公衆電話を避難所となる施設に設置するため、NIT東日本と覚書を交換する準備も現在進めているところで

あります。

代表質問

国民健康保険の今後の見通しと、
予防医療の必要性を問う



公明党 新宅 雅子

国民健康保険

問 今年度の本市の国
保財政の見通しは如
何か。

市長 国民健康保険
特別会計は、先の
6月議会において繰上充用
の補正をし、平成25年度の
歳入不足を補填しました。
被保険者高齢化や低所得化
が進む中、国保制度の構造
的な問題の解決なくして
は、国保財政の改善は難し
いところですが、引き続き
収納率の向上や医療費適正
化などに取り組んでいきま
す。

市長 千葉県は、将来
的な医療保険制度
の全国規模での一元化に向
けた前段階として、市町村
国保を県単位で一元化する
ことにより、市町村国保の
広域的な事業運営、及び財
政安定化を目指し、環境整
備をしています。国民健康
保険の財政上の問題を解決
した上で、運営について都
道府県が担うことを基本と
しつつ、保険料の賦課、徴
収、保健事業の実施等につ

問 今後の国民健康保
険の広域化の見通し
は如何か。

いて都道府県と市町村にお
いて適切に役割分担するこ
と、必要な法律案の平成27
年度通常国会提出を目指す
とされています。現時点で
は、平成27年4月から保険
財政共同安定化事業を拡大
し、早ければ平成29年4月
から、国民健康保険の運営
を県単位とする予定です。

市長 本年において、
国民健康保険被保
険者のうち、40歳以上の方
を対象として、糖尿病や高
脂血症などの生活習慣病
を未然に防ぐため、特定健
診、及び特定保健指導を
行っています。しかし、受
診率が低いのが実態で、い
かに関心を高めるかが課題
であり、本年度より受診率
向上のため、検査項目や健
診日程を追加しました。

の口腔ケア等について、広
報紙等で周知しています。
また、介護予防の視点から、
要介護になる恐れのある高
齢者に対し、栄養、口腔教
室を開催しています。講義
や体操を通し、口腔機能の
維持向上がいかんにか大切であ
るかを参加者に伝えていま
す。今後も同様に実施し、
高齢期の方の健康維持増進
を支援していきます。

市長 本年10月1日から
肺炎球菌ワクチンが
定期接種になるが、その周
知方法を伺う。

付金による街づくり基金を
設置し、「八つの街づくり」
メニューの中から、寄付者
が指定した事業に寄付金を
活用しています。手続きは、
市役所、または市ホーム
ページの申込書に必要事項
を記入し、電子メール、ファ
クシミリ、郵便、直接持参
のいずれかの方法で申し込
んだ後、市から送付する通
知書により納入していただ
いています。現金書留や現
金を担当課に直接持参して
も納入可能です。

市長 平成25年度の
実績は、寄附件数
が99件、寄付金合計額が
384万8千801円とし
た。平成24年度は、寄附件
数が5件、寄附金合計額が
21万円でしたので、大幅な
増加となりました。これは、
平成25年2月から寄付金の
額が1万円以上の方へ、お
礼の品として落花生の詰め
合わせを贈っている効果と
考えます。本年度は、5月
のみの1カ月間限定で、ス
イカをお礼の品に加えまし
た。これからも特産品を活
用したお礼の品の内容をさ

市長 市では健康な
歯を保つために、
虫歯や歯周病の予防、日常
ケア教室を開催し、さらに
シニア層への周知を望むが
如何か。

市長 ふるさと納税
制度は、本市では
落花生の郷やちまた応援寄
附の仕方を具体的に
伺う。

らに充実させ、手軽にご寄
附いただけるよう、手続き
方法の改善について検討し
ます。

飲酒運転撲滅教育

問 義務教育の期間中
に、飲酒運転撲滅の
法令順守の教育をしてい
だきたいが如何か。

市長 小中学校では、
保健の授業の中で
喫煙や飲酒が体に及ぼす影
響について、学習していま
す。また、交通事故防止の
ために交通安全教室を実
施しています。さらに、中
学校では青少年健全育成講
話の中で、飲酒を含めた薬
物乱用防止に関する話を
していたいただいています。飲
酒運転撲滅については、社
会にとつて重要な課題です
ので、小中学生の頃からそ
の意識を育てる教育を行
うことは大切であると考えま
す。児童、生徒は、飲酒運
転の悪質性についてはテレ
ビ等のさまざまなニュース
を通じて知っていると
思いますが、家庭でも、飲
酒運転が引き起こす悲惨さ
や、法令順守の大切さにつ
いて、指導していくことが
大切であると考えます。

市政に遊び心を ドックランをつくらう



改革クラブ 桜田 秀雄

代表質問

市営住宅跡地問題

問

市がおこなった市民の意識調査で「遊ぶところの多いまちですか。」の問いかけに「そう思う。」とお答えは僅か0.4%、市民1人あたりの公園面積は県内市の中で最下位です。市営住宅跡地にドックランや公園の整備を求めるが如何か。

市長

公募を停止している実住、複戸、笹引、交進、富士見の5団地について、入居住宅が点在し用途廃止は困難です。この中で富士見団地は集会所と住宅5戸のうち、入居している住宅3戸を除き、本年度に取り壊し、一部用途廃止する予定です。



▲市営富士見団地

問

富士見団地の今後の利用計画について伺う。

建設部長

富士見団地は大変まともな用地で、市道の認定はされていますが、斜めが上がってくる道があり、利用者もあることから、そうしたことも踏まえた中で計画していきます。

問

「活力のあるまちですか。」との問いにもほぼ同数のお答えです。八街駅北側の核施設用地に大型テントと常設ステージをつくり、毎週イベント市(いち)を開催できないか。

市長

毎週開催については主催団体等にお伝えします。また、大型テント等の常設については、公共施設用地を暫定的に使用している関係で、構造物を設置することは現在のところ考えていません。

問

文化会館は郊外に、公共施設用地はまちの活性化対策に活用する、というのが私の考えです。公共施設用地の将来計画について、第3次基本計画の中で見直す考えはないか。

総務部長

今後の核施設用地のあり方等について、次期総合計

画の中で、必要性、またどういうものが将来的にいいのかということは十分議論していきたいと考えています。

問

クリーンセンターの余熱を活用した温水施設建設を求めるが如何か。

市長

温水プール等への利用は熱量不足であり、施設の整備とその後運営に要する経費を考えると大変難しいものと考えています。

女性幹部職員登用の

問

政府は2020年に、あらゆる分野で指導的地位の3割以上が女性となるような社会を目指しています。女性の登用促進は、まず公務員や地方公務員が率先して取り組むこととされているが、八街市議会に出席している女性職員はゼロ、今後の対応について伺う。

市長

過去に女性管理職の議事説明者となり、他の女性職員の模範となつて、後進の指導にあたっていた時期がありました。優秀な女性職員が幹部職員になつ

て、能力を発揮していただきたいと考え、本年4月の人事異動で課長職の女性管理職員を3名から4名に増やしました。

問

現在、地方公共団体の女性職員の割合は27.1%、同じく課長職以上の女性職員の割合は5.8%ですが、八街市の現状及び自治大学を活用する考えはないか。

総務部長

平成26年4月1日時点で、男性職員279名で50.18%、女性職員が277名で49.82%です。そのうち、課長職の7級以上の職員は男性が40人で90.9%、女性が4名で9.1%です。現在、千葉県自治研修センターなどを利用し専門的な講座等を研修、受講させている状況です。ご指摘の自治大学等への学習に参加させることは、市としても意義のあることと考えています。

市長

道路管理者である県の印旛土木事務所に向つたところ、現地確認を行い、安全対策が必要と判断された場合には路面標識の設置などを検討していく、と伺っています。

空き家対策

問

空き家の現状と実態調査の実施について伺う。

市長

7月29日総務省から発表された速報値によると、全国の空き家は820万戸、住宅総数に占める割合は13.5%で最新の市町村結果は公表されていません。問題のある空き家の実態調査は行つていませんが、現在、国においては法整備を検討中であり、空き家対策法案の審議を注視してまいります。

問

空き家バンクについて伺う。

市長

現在、人口減少問題、移住、定住施策として空き家バンクの制度化を目指し例規の整備を進めており、年度内に運用を開始したいと考えています。

交通安全対策

問

県道成東酒々井線、大東区コミュニティセンター先S字カーブの安全対策について伺う。

個人質問

住み良い街づくりのために

側溝整備

市民の皆様から、何とか側溝を整備して欲しいとのたくさんの声をいただきます。流末排水が少ない本市では、とても難しいと認識していますが、ぜひ側溝整備に力を入れていただきたいと望むのですが、その計画は如何か。

市長

側溝を整備するには、下流の流末を確保することが必要不可欠であり、流末がない箇所については、側溝を設置することは困難な状況にあります。側溝の整備には、排水経路の測量や用地買収、工事費などに多額の費用が必要となることから、今後の財政状況を勘案しながら予算の確保に努めるとともに、効率的な調節池の配置計画についても今後調査検討していきます。

デマンド交通

国が2020年度をめどに、デマンド

公明党

鯨井 眞佐子



交通の導入自治体数を今の倍以上の700市町村に拡大させる目標を交通政策の基本計画に盛り込むと打ち出しました。本市も交通の不便さを感じている方がたくさんいますので、デマンド交通の早期導入を望むが、その取り組みは如何か。

市長

八街市地域公共交通総合連携計画における事業メニューには、ふれあいバスの再編とともに、新たな交通システムの導入検討を行うとしており、八街市地域公共交通協議会において平成27年度末までに検討を行う予定です。

防犯灯

LEDのリース化の早期実現を望むが如何か。

市長

近年のLED防犯灯の普及に伴い、毎年のように灯具の価格が下落しています。今後さらなる下落も予想されることから、現状での一括リースを含め、あらゆる方

クリーンセンター

法を検討していきます。

9月からゴミの搬入に身分証明の提示が必要となったが、一般家庭からの搬入はどのくらい減ったのか伺う。

市長

搬入台数は、1日から6日の土曜日まででは、全体では1千304台となり、一週間で約100台が減少したという状況です。

市長

年末のゴミ収集の予定は如何か。受入れについて

市長

は、直接搬入を12月27日までとし、ゴミ集積所からの収集については、12月29日までとする計画です。※その他の質問 ◆空店舗を利用した0才1才児の保育 ◆ロタウイルス胃腸炎の予防ワクチンの導入 ◆乳児のB型肝炎ワクチン接種

個人質問

障がい者にやさしい街づくりと健康、教育を問う。

健康問題

我が国の胃がんの大きな原因の1つがピロリ菌です。ピロリ菌の除菌治療は若い方ほど成功率が高く、予防効果が大きいと言われてます。本市としても20歳から39歳の若い世代にピロリ菌感染検査を導入すべきと思うが如何か。

市長

本市では、胃がんの早期発見のために、40歳以上の方を対象に胃部エックス線バリウム検査を実施しています。若い世代の方のピロリ菌除菌の成功率が高いという報告がある一方、衛生状態の良い環境で育った若い世代のピロリ菌感染率は、年々低くなっていることから市としては、若い世代のピロリ菌検査については、現時点では考えていません。

公明党

服部 雅恵



要援護者登録の現状は如何か。また、支援者がいない方の人数、対策は如何か。

市長

平成26年8月末現在の要援護者登録数は1千13人で、そのうち障がいのある方は156人となっています。また、避難支援者がいない方は125人となっています。災害時は、地域が連携して災害時要援護者の安否確認や避難誘導等の支援をし、安全確保に努めていきたいと考えています。

市長

本市には、現在のところ福祉避難所として指定した施設はありませんが、八街市地域防災計画の中では、老人福祉センターを高齢者向けの福祉避難所の設置予定施設とし、また、つくし園を乳幼児・母子向けの福祉避難所の設置予定施設として明記しています。障がい者向けの福祉避難所は、民間の障

読書の普及

司書が配置され、各学校の図書室はどう変わったのか伺う。

教育長

今年度から全小中学校に週に1日、図書館司書が配置され、児童生徒の読書活動の支援をしています。地域の図書ボランティアの方々の協力もあり、図書室の環境が整い、来室しやすい雰囲気がつくられています。また、蔵書の管理が的確に行われ、子どもたちがたくさんの本とふれ合うことができるようになりました。週1回、4時間という短い時間ではあるものの、各学校における図書館司書の役割は、とても大きなものとなっています。

◆その他の質問 ◆図書館について

障がい者の災害対策

障がい者の災害時

個人質問

くらし・子育て施策を最優先に

日本共産党 丸山 わき子



大関調整池周辺の冠水対策

問

大関調整池は、貯留能力をはるかに超える雨水が流れ込んでい

市長

池とともに、各宅地への雨水貯留タンク・

子育て支援の充実

問

市民意向調査では、子どもがのびのびと遊

個人質問

住宅リフォームの助成制度の継続を

日本共産党 右山 正美



地域経済活性化で元氣な街づくりを

問

公共施設、市有地への太陽光など再生エネル

市長

導入の目的や必要性を明確にするよう、次

問

住宅リフォームの助成制度は、地元中小

市長

た平成24年度から今年の8月末までの申請

問

児童クラブの保育料の軽減について、

市民部長

軽減策を講じていかなければならないと考えています。

日本共産党

右山 正美

以上であると考えます。

問

この制度は、労働者の仕事も市税収も

市長

県も関係機関に確認をしたところ、

問

市の耕作放棄地は、現在235ヘクタール。

市長

耕作放棄地の有効利用を目的に、

問

道の駅構想をもち、市の特産品の販売など、

教育長

児童生徒の学習環境の改善に努めます。

市長

早期の実現は難しいと思う。関係機関及び団体等と協議

教育環境の整備を

問

プールの老朽化が進んでおり、水泳の授業が中断されないよう

教育長

授業では、児童・生徒の実態に合わせて、水慣れ・浮く・

問

昨今の異常気象へのエアコンの設置は喫緊の課題だが、計画を伺う。

教育長

今後国庫補助制度などを活用し、計画的に整備し、児童生徒の学習環境の改善に努めます。

個人質問

これからの「特別支援教育」と、
家族の幸せを守る「不妊症治療」について問う！

誠和会 山口孝弘



個人質問

公務員倫理の向上と市税財源確保に向けた
取り組み、消防・防災について

誠和会 石井孝昭



特別支援教育

問 通常学級に在籍し特別な支援を要する幼児、児童・生徒に対して、個別の指導計画や個別の教育支援計画の作成はどのように進められているのか。

教育長 特別な支援を要する児童・生徒について、個別の指導計画の作成を推進している状況です。今後は個別の教育支援計画を必要に応じて作成していく方向です。

問 自閉症スペクトラムなどの児童・生徒は、大半は専門家の判定がない状態で、親も理解していない現状をどのように考えているのか。

教育長 よりきめ細やかな支援が必要だと考えており、相談体制の整備を図ります。

問 インクルーシブ教育を推進するためには生徒間の理解が重要ですが、生徒間における理解・認識の必要性について伺う。

教育長 インクルーシブ教育シテムの構築は、八街市においても重要な課題です。国

教育長

本人及び保護者の同意を得て、必要な情報を幼児、児童・生徒に伝え、福祉に関する学習、特別支援学級などとの交流学习など人権教育の中で理解を深めます。

問 通常の学級では、発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童・生徒は約6.5%の割合で在籍しており、教職員の専門性の向上が一層求められるが如何か。

教育長 特別な支援学級担任だけではなく、全職員でという意識が高く、多くの学校が校内研修等でも取り上げ、積極的に研修を行っています。

問 インクルーシブ教育推進のためには、予算の確保が重要です。国や県の補助事業を得ながら、体制と基盤整備を進めていただきたいが如何か。

教育長 インクルーシブ教育シテムの構築は、八街市においても重要な課題です。国

不妊症治療

治療費が高額であるので、経済的に大きな負担となり不妊治療を受けられないご夫婦がたくさんいます。不妊症治療について本市の考えは。

市長 県では、高額な医療費がかかる体外受精や顕微授精に要する費用の一部を助成しています。治療内容により15万円から7万5千円が1回の治療につき助成されます。

問 国が定めた制度に上乗せし、不妊症治療費用を一部負担する助成制度を設けている自治体もあるが考えは。

市長 次期総合計画等の中で協議してまいります。

市民部長

◆スクールの配備
◆ワーカーの配備
◆八街市内で出産・分娩ができる環境を

消防力強化の取り組み

本市の人口動態など、様々な角度から消防車の適切な配備を進めていく必要があるが、どのように考えているのか。

市長 各分団の出動体制等を十分にカバーできるように、市全体の体制を整えながら、適正な配置を検討したい。

問 第16分団全国消防操法大会出場の応援協力体制を伺う。

市長 操法訓練用諸費補助金88万4千円は、予算費で対応し、今回の9月議会に操法大会に係る経費として、総額153万1千円の補正予算を計上しました。

問 具体的な消防団本部に対しての応援体制を伺う。

総務部長 過大な個人負担がからまないよう、団本部と十分協議をし、応援体制をとりたいと考えています。

公務員倫理

市民の信託を得て職務を執行する公務員として、自らの倫理観を再点検するとともに、市全体の公務員倫理向上に向けて継続的に取り組む姿勢が必要で、これまでの取り組みと今後の計画を伺う。

市長 全職員に対し、随時綱紀の粛正、交通法規の遵守などについて通知をし、厳正な服務規律の確保に努めています。

問 公租公課の原則として市税の安定的な財源を確保することが極めて重要ですが、具体的に市税等の徴収強化における現状と取り組みを伺う。

市長 平成20年9月に市税等徴収対策本部を立ち上げ、コンビニ収納、日曜開庁、夜間窓口の設置、インターネット公表、搜索の開始、出納閉鎖前の1カ月間の集中滞納整理、

千葉県滞納整理推進機構との共同滞納整理、多重債務者を対象とした弁護士無料相談、財産調査専門職員による財産調査、さらには悪質滞納者に対する財産差押えの強化など、さまざまな施策を実施しています。

問 課税の中の償却資産の取り組みは、実地調査を地方税法で義務の取り組みを伺う。

総務部長 現地調査及書の閲覧をし、調査したいと考えています。

問 債権管理条例制定に向けた本市の考え方を伺う。

副市長 市債権の一元的な管理、徴収率性は十分認識しているもので、既に導入している他の自治体の状況等も踏まえて、引き続き調査・研究したいと考えています。

市長 市税等の収納状況

◆市税等の収納状況

個人質問

安心で安全
住んで良かったと思える街づくりのために

誠和会 木村利晴



教育問題 道徳教育

問 去る7月26日長崎県佐世保市で、女子高校生殺害事件がありました。加害者の女子生徒から人間としての社会生活、思いやり、命の大切さを感じられません。本市では、児童・生徒に命の大切さをどのように伝えていくのか伺う。

答 活動などを通して、より深く考え、実践力を身に付けられるように家庭や地域との連携に努め、道徳教育の一層の充実に努めます。

自主防災組織

問 自主防災組織は、住民同士が協力して自発的に作るもので、地域防災活動の拠点になります。本市も今年の6月に、自主防災組織活動マニュアル(案)が作成されました。自主防災組織の推進にあたり、町内会や自治体にとどのように働きかけ、啓発を行うのか伺う。

答 自主防災組織は、自主防災組織活動マニュアル(案)が作成されました。自主防災組織の推進にあたり、町内会や自治体にとどのように働きかけ、啓発を行うのか伺う。

八街市活性化

問 駅南口商店街の買い物弱者支援事業の商店街お買い物代行サービスの内容と今後の事業展開について伺う。

答 このお買い物サービスは、八街駅南口商店街振興組合が実施団体となり26店舗が登録されています。生活雑貨から食料品まで、利用者のニーズに幅広く応えるものです。商店街の活性化と一つの起爆剤になればと思っています。

個人質問

協力雇用主に対する支援・教職員の負担軽減を

誠和会 小山栄治



協力雇用主に対する支援

問 本市では協力雇用主に対して、公共事業等の競争入札における優遇の支援はできないか伺う。

答 主に対して、公共事業等の競争入札における優遇の支援はできないか伺う。

答 本市では協力雇用主に対して、公共事業等の競争入札における優遇の支援はできないか伺う。

教育長

校長が学校経営を営む上で、

問 教職員は労働時間が長く、負担がかかり過ぎていないかどうか伺う。改善はできないのか伺う。

教職員の負担軽減を

答 教職員は労働時間が長く、負担がかかり過ぎていないかどうか伺う。改善はできないのか伺う。

問 教職員の負担軽減には、二期制は非常に有効だと思いますが、本市でも一部の学校で二期制導入に向けての検討、今までの三学期制のままで通知表を二回にする案など、教育課程の改善が考えられているようですが、本市で

現在、学校現場に求められて



▲毎月定例で行われている校長会

問 主体的に学ぶ児童・生徒の育成として、「心に響く道徳教育」「豊かな心の育成」のための、子供たちに考えさせる心の教育について伺う。

教育長

道徳教育を深化、深める

ために、言語活動や読書活動、体験活動や社会参加

自主防災組織のリーダーが大変重要に

このお買い物サービスは、八街駅南口商店街振興組合が実施団体となり26店舗が登録されています。

現在、学校現場に求められて

丸山わき子議員に総務大臣感謝状

丸山わき子議員は、昭和53年に八街町議会議員に当選して以来35年間以上にわたり、八街の発展に顕著な功労がありましたので、総務大臣から感謝状が贈呈されました。



◎丸山議員より◎

このような機会をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。これからも、いっそう「市民が大切にされる市政」を目指して働いてまいる所存でございます。どうぞ変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

★ 議会日誌 ★

【8月】

- 1日 ・めいろう夏まつり
- 1日 ・印旛沼地区農業農村整備事業推進協議会平成26年度総会
- 2日 ・平成26年度スポーツ少年団野球専門部「納涼会」
- 4日 ・印旛管内市議会正副議長連絡協議会定例会
- 4日 ・会派行政視察（やちまた21）新潟県～6日
- 8日 ・公共下水道大池第三雨水幹線建設工事安全祈願祭、シールド発進式
- 8日 ・平成26年第2回印旛郡市広域市町村圏事務組合議会臨時会
- 15日 ・「戦没者を追悼し平和を祈念する日」の追悼式
- 20日 ・印旛土木事務所との意見交換会
- 23日 ・八街ふれあい夏まつり
- 25日 ・議会運営委員会
- 25日 ・中学校総合体育大会等の報告会
- 27日 ・議会改革検討協議会

【9月】

- 2日 ・文教福祉常任委員会協議会
- 2日 ・全員協議会
- 2日 ・平成26年第2回9月定例議会（～9月25日）
- 7日 ・スポーツ少年団創立50周年記念式典
- 9日 ・全員協議会
- 9日 ・議会運営委員会
- 13日 ・コート・エミナス及びコスモ・ヴィレッジ秋祭り
- 16日 ・総務常任委員会
- 17日 ・文教福祉常任委員会
- 18日 ・経済建設常任委員会
- 19日 ・四街道市議会決算審査特別委員会視察研修
- 19日 ・首相官邸表敬訪問
- 25日 ・議会運営委員会
- 25日 ・全員協議会
- 25日 ・議会だより編集委員会
- 28日 ・八街市議会議長杯・日曜ソフトボールリーグ戦閉会式
- 29日 ・八街市まちづくり有識者会議

【10月】

- 1日 ・決算審査特別委員会（～10月3日）
- 8日 ・第24回全国消防操法大会出場隊激励会
- 12日 ・市民体育祭
- 17日 ・第180回千葉県市議会議長会定例総会
- 19日 ・市民文化祭芸能部門発表会（民謡・吟詠・尺八・マジック・合唱）
- 19日 ・八街市ソフトボール大会開会式
- 22日 ・印旛郡市特別支援教育振興大会
- 22日 ・議会だより編集委員会
- 23日 ・北総地区市議会正副議長会議員研修会
- 24日 ・佐倉市八街市酒々井町消防組合議会定例会
- 25日 ・佐倉市市制施行60周年記念式典
- 25日 ・産業まつりアイデア料理コンテスト審査会
- 26日 ・市民剣道大会開会式
- 26日 ・市民文化祭芸能部門発表会（カラオケ・舞踊）
- 27日 ・印旛郡市負担金審議会
- 27日 ・印旛郡市広域市町村圏事務組合議会定例会
- 27日 ・印旛衛生施設管理組合議会定例会
- 27日 ・会派行政視察（公明党）福島県・山形県～29日



※議長・副議長をはじめとする議員の主な議員活動を掲載しています。

平成26年9月定例会議案等賛否一覧

議案番号等	件名	結果	各議員の賛否																				
			議長	誠和会						公明党				日本共産党		やちまた21		改革クラブ					
				林修三	中田真司	湯浅祐則	小高良弘	山口孝昭	石井孝昭	木村利晴	小山栄治	小菅耕二	鈴木広美	長谷川健介	新宅雅子	鯨井眞佐子	川上雄次	服部雅恵	丸山わき子	石山正美	京増藤江	加藤弘	林政男
市長提出議案																							
諮1	人権擁護委員候補者の推薦	適任と認める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議1	教育委員会委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議2	八街市立幼稚園保育料徴収条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議3	八街市子ども・子育て会議設置条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議4	八街市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議5	八街市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議6	八街市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議7	平成26年度八街市一般会計補正予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議8	平成26年度八街市水道事業会計補正予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議9 ～ 議14	平成25年度八街市一般会計歳入歳出決算、平成25年度八街市国民健康保険特別会計歳入歳出決算、平成25年度八街市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算、平成25年度八街市介護保険特別会計歳入歳出決算、平成25年度八街市下水道事業特別会計歳入歳出決算、平成25年度八街市水道事業会計決算の各会計決算の認定は閉会中の継続審査		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案																							
発6	八街市議会議員定数条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発7	八街市議会委員会条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発8	新聞等への消費税軽減税率適用を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発9	消費税率10%へのさらなる増税の中止を求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

議案番号欄 諮・・諮問、議・・議案、発・・議員提出議案(発議案)
 ※林 修三議長は採決に加わりません。
 各議員の賛否欄 ○・・賛成、×・・反対、欠・・欠席、早・・早退

子ども議会の夢叶う



中川さんより:近頃不審者が多いので、私の案が通ってよかったです。小さい子が早く帰宅できるようになるとよいです。

現在、防災無線による午後5時に行っている時報通報は、子供たちの帰宅時間の目安ともなっていることから、日没の早まる11月から3月の間午後4時30分とすることで、子供たちの早めの帰宅を促すことになりました。

これは、平成26年1月に実施された「八街っ子夢議会」で議員として代表質問を行った八街北中学校の中川可菜さん(当時朝陽小6年生)の夢が叶いました。

八街市議会12月定例会のお知らせ

八街市議会12月定例会は12月12日(金)から12月25日(木)までの日程で行われる予定です。
 ○一般質問日程(予定) 12月15日(月)・16日(火)・17日(水) 午前10時～

編集後記

東日本大震災から3年半が経過しました。全国各地で台風などによる風水害や、御嶽山の噴火により尊い命が失われ、お亡くなりになった方に心からお悔やみ申し上げます。

「議会だより」は市民の皆様にとって、もっとも身近な情報受信ツールの一つであります。これからも、より充実した正確な情報を皆様方にお届けし「議会だより」のあり方を模索しながら、分かりやすい紙面づくりに努めてまいります。
 (山口孝弘)

●議会だより編集委員会● 委員長/林 政男 副委員長/服部雅恵 委員/京増藤江・新宅雅子・古場正春・山口孝弘・石井孝昭・木村利晴・小山栄治

※本紙にご意見等ございましたら「議会だより編集委員会」までお寄せ下さい。 TEL043(443)1482